

オッペルと象



*** 人形劇団プーク ***

人形劇団プークは1929年(昭和4年)に創立されました。プークの名前の由来は、宮沢賢治も深い関心を持っていた「エスペラント語」に由来しており、人形を意味するPUPAの“PU”と、クラブを意味するKLUBOの“K”をとってPUK(プーク)として定着していきました。

1948年、戦後再建の第一作に「オッペルと象」を公演し、1953年には長編人形映画「セロ弾きのゴーシュ」を制作。令和4年には「第32回イーハトーブ賞」を受賞しました。

「オッペルと象」はプークの大切な節目に再演・再創造してきた、記念碑的作品です。宮沢賢治生誕の地である花巻で、劇団総力を挙げて「オッペルと象」をお届けします。



〔スタッフ紹介〕

原作：宮沢 賢治
脚色・演出：井上 幸子
美術：若林 由美子
音楽：マリオネット(湯浅 隆・吉田 剛士)
照明：増子 顕一(SLS)

〔公演時間〕 約105分(休憩あり)

南の国のある村。農場では傲慢な地主オッペルに虐げられて働く百姓たちがいた。そこに新しい世界を求めて白象がやってくる。はじめは働くことを楽しんでたが、百姓の仲間には入れてもらえず、食事のわらも日に日に少なくなっていく。体力も気力も衰えた白象は…。



会場 花巻市文化会館

岩手県花巻市若葉町三丁目16-22

- 東北新幹線・JR釜石線「新花巻駅」より車で20分
- JR東北本線「花巻駅」より車で6分、徒歩20分
「新鉛温泉」方面行バス「文化会館前」下車
- いわて花巻空港から車で20分
- 東北自動車道・花巻南ICから5分

※駐車場に限りがございますので、お車の方は早めにお越しください。

